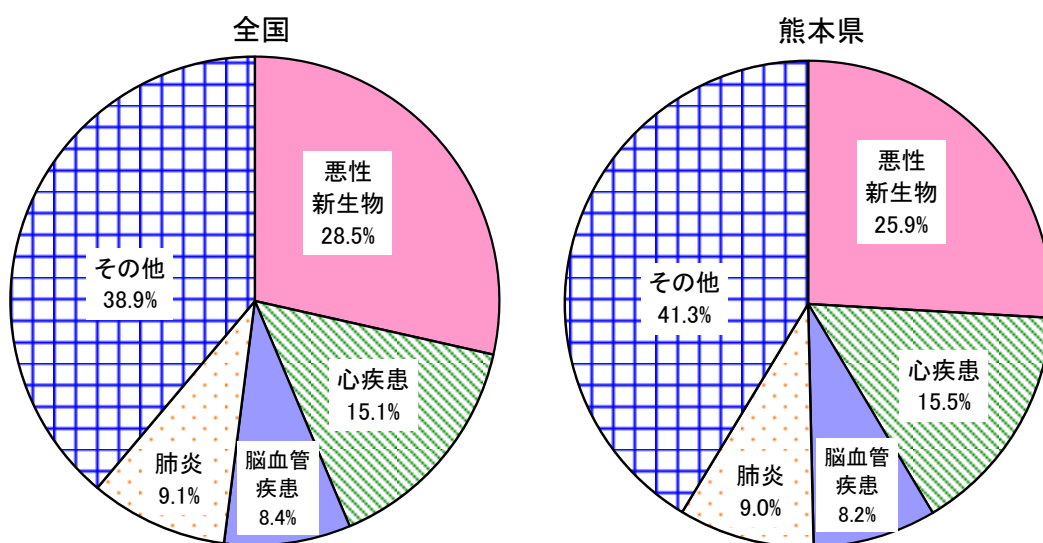


死因別死亡者数構成比（平成28年）



解 説

【概要】

平成28年の県内死亡者は21,379人であった。死因別に内訳をみると、もっとも多いのが悪性新生物の5,539人、次いで心疾患の3,322人、肺炎の1,929人、脳血管疾患の1,751人と続いており、以上4つの死因で全体の約3分の2を占めている。

○死亡者数

1月から12月の1年間に届けられた死亡者数。

○悪性新生物

一般にガンと呼ばれている病気のこと。

○心疾患

心不全、急性心筋梗塞、高血圧性心疾患などをいうが、ここでは高血圧性心疾患は含めていない。

○脳血管疾患

脳出血、脳梗塞などが含まれる。

資料出所	調査期日	調査周期
「人口動態調査」 厚生労働省	平成28年	毎年